



大阪医学統計学セミナー 第18回

Osaka Biostatistics Seminar

5月22日 (水)
18:00~20:00



場所：
医学系研究科基礎研究棟L階
医学統計学研究室

時間依存共変量を考慮した傾向スコアに基づくsequential matchingを用いた院外心肺停止症例データベースの解析

講演者：小向 翔(大阪大学医学統計学講座)

概要：

院外心肺停止症例データは、国際的に統一されたウツタイン様式に基づいて収集され、発生から病院収容までの症例情報や救命救急士による治療履歴を保有している。院外心肺停止症例に対して救命救急士が行う重要な治療の一つに高度気道確保

(advanced airway management; AAM) がある。救命救急士は心肺停止症例に対してAAMの実施が許可されているが、自己心配再開 (Return Of Spontaneous circulation; ROCS) 症例には許可されていない。即ち、AAM介入を受ける症例は、介入時点までにROSCしていない症例に限られる。このことにより生じるバイアスは、“Resuscitation time bias”と呼ばれ、介入効果の過小評価につながる。本発表では、このバイアスを除去するために用いた、時間依存共変量を伴う傾向スコアに基づくSequential matching法を紹介し、本解析手法に対する議論を行う。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科 医学統計学講座

E-Mail : office@biostat.med.osaka-u.ac.jp TEL : 06-6879-3301